



ファッシー通信

第7号

— 主人公はあなたです —

子どもは子ども、あなたはあなた。
みんなありのままの自分でいてほしい…。

いつの時代でも、制度が変わっても、地域や年齢や障がいに違いがあっても、みんな同じ。壁にぶつかり、悩み、時に苦しむこともあるでしょう。そんな中で、頑張っているあなたへ——
自分を大切にしながら安心して笑顔で子どもと向き合ってください。
そんな思いで活動しています。

2018年度 家族支援事業部 実施報告

実施日	内容（開催地）	参加数			
		会員	会員外	合計	備考
10/18(木)	ファシリテーターのつどい（埼玉会館）	18	0	18	
11/8(木)	家族支援ワークショップ（北本）	14	0	14	
1/11(金)	家族支援ワークショップ（久喜市栗橋）	12	8	20	1名入会

2018年度を振り返って



平成30年度も家族支援事業部は新井由加里部長を中心に活発な事業展開をしました。ワークショップ開催のほかに家族支援部でファシリテーターとして学んできたことを少しでも県育成会の皆様に反映するべく、ブロック会議で「ぬいぐるみキャッチボール」を試みるなど、斬新な発想を実践しています。権利擁護の推進にはコミュニケーションが必須です。まずは私たち当事者家族がそのことを理解し、親・きょうだい・本人の支援を大きな輪にしていきたいと思っています。

知的障がい者とその家族が社会から孤立しないように、少しでも生き易くなるように、これからもさまざまな形でアプローチをし、今年度も研修会や講演会、ワークショップを開催していきたいと思っています。

あなたの町の育成会、そしてあなたの町の家族支援部が、新しい『令和』初年度もがんばります。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。☆多（一）!!

業務執行理事 高野淑恵

目次

1P・・・2018年度実施報告	3P・・・家族支援ワークショップ
2018年度を振り返って	久喜市栗橋手をつなぐ親の会
2P・・・家族支援ワークショップ	4P・・・
北本市手をつなぐ親の会	久喜市栗橋手をつなぐ親の会

11/8（木）家族支援ワークショップ（北本市手をつなぐ親の会）

【ワークショップの流れ】

- ワークショップの目的とルール
- 導入のワーク「氏名、立場」
「好きな季節とその理由」
「私のこの一週間」
- 学習プログラム
「親として「育つ」ということ」
- 「ありがとう・ごめんね」を見直すワーク
- 話し合い（自分なり的一步はどこに）
- 感想・終わりのワーク

会場：北本文化センター
参加人数：15名
（全員会員）



✿ ～ワークショップに参加して… ✿

初めてワークショップに参加させていただきました

子供との関わり方で、服を買うときや外食時のメニューなど、親の都合で決めてしまっている事の多さです。まず本人の思いを知り、こちらの都合も理解してもらえる関係を作ることは、人間らしく生きていくために必要だと気付きました。

また子供の痛みや、辛さをいつも自分の事のように感じてしまう自分。子供が子供への質問に対し、親が答えてしまう事が多かったです。これについて、グループで話しが出て参考になりました。

早く答えなくては、と思い代弁してしまう場合、子供が質問をされた時、周りの人が少し待つことで、本人から何らかのサインを出す事ができたり、相手が親へ質問してくる場合も想定されますが、それについては子供自身を知ってもらう機会が増えれば、自然と子供へ話しかけてくれる事も増えるかもしれません。親と子が生き生きと過ごしていく為のヒントがたくさんあり、充実した時間となりました。ぜひ、今後に活かしていきたいです。

～似内 鏡子～

初めての参加でしたが、ゲームを取り入れた自己紹介から始まり和やかな雰囲気の中楽しむことができました。チェックシートを通して子供や自分のことを客観的にとらえ再認識することができ大変勉強になりました。グループでの話し合いも共感し合ったり貴重なアドバイスを受けたり、子供との関わり方を見つめ直す良い機会を与えて頂いたと思います。ありがとうございました。

～及川 ひろ美～

家族支援ワークショップを11月8日北本市文化センターにて行いました。今回はファシリテータ見習いとして参加しました。少しの緊張感もありましたが和やかな雰囲気の中時間が過ぎて行きました。年齢期のお母さん達の話に耳を傾け我が身を振り返る思いでした。見習い経験を積みながら慣れていきたいと思っています。

～石川 美恵～ファシリテーター



1/8 (木) 家族支援ワークショップ 久喜市栗橋手をつなぐ親の会)

今回は、学齢期のお子さんのご家族の参加が多かったので、学習テーマを「家族にも支援が必要です」にしました。ワークショップのなかで、一時ですが自分とお子さんとの関係を見つめ直し、気づきの時間にしていただけたように思いました。

会場：清久コミュニティーセンター

～ワークショップに参加して～

※自分で意思を伝えられるように心がけているつもりが、親の考えた物の中から選ばせている事、子どもを単体で考えていた事に気づきました。 ～子ども10代女子の母～

※グループの方の話を聞いて自分の現状に気づくことができ改善点などが分かって良かったです。

～子ども9歳 母40代～

※もっと子どもに任せられる事があるのかなと口うるさい自分に言い聞かせました。反抗期の息子には驚く事が多く混乱し無力感や孤独感に逃げ出したくもありますが、いろんな手法を学び子離れ出来るようになりたいです。20歳になるのが楽しみになりました。

～子ども17歳 母40代～

※普段からもちょっと立ち止まって、自問自答する様な時間を作る事が大切なかもしれません。

～子ども18歳 母40代～

※「ちょこっとチャット」、楽しく緊張がほぐれました。親子関係の見直しや自分の中“こう言ってくれたらなあ・・・”の気持ちに気づけて良かったです。

～子ども10歳 母40代～

※理解できないと親が決めていた事が多かったと気づきました。わかるように話をしたり選択させる機会を増やしていきます。まだ子ども？大人扱い？そのギャップに悩みます。

～子ども20歳 母50代～

※将来の自分や息子についてよく考える機会になりました。

～子ども17歳 母50代～

※家族についてとても悩んでいたのがワークショップを楽しみにしていました。周りの意見や学習が今後の人生にとっても参考になりました

～子ども6歳、4歳 母30代～

※障がいのある子どもを持って、苦しんだ事、悩んだ事を全部まとめてくださりうれしかったです。子どもを持ってたくさんのことに気づきをもらいました。私は今の自分が好きです。この様なプログラムがあり、共に支えてくださる先輩がいる事がありがたく心から感謝します。

～子ども21歳 母60代～

※自分の限界を決めずに子どもの自立のためにやらせていた事が多々ありました。お風呂、今日から別々にします。そして「1人じゃない」の言葉を励みにいろいろ乗り越えたいです。

～子ども12歳 母30代～

※今日お会いしたみなさん、笑顔でちょっとびっくりしました。でも楽しみなきゃいけないだとも思いました。

いろいろ考えがちですが、視野を広げていけばいいのかなと感じた1日でした。 ～子ども12歳 母40代～

※家族支援の大切さ、支援をもらっていいんだよ！というのが改めてわかりました。パパとママ、それぞれ思いが違うこと。相手への優しさやゆえにボタンのかけ違いが起こる事がわかりました。

～子ども17歳 母50代～

※自己決定をあまり行っていないことに気づきました。

～子ども26歳 母50代～

※どういった支援があるかと、他の学習も気になりました。またやっていきたいです。

～子ども9歳 母30代～

※家族支援ワークショップは珍しく参加できて元気な気持ちになりました。気分転換にもなり良い〇〇を過ごしました

～子ども9歳 母40代～



～思ひ～

初めて家族支援ワークショップに参加した時の感動は今でも鮮明に覚えています。ワークショップって何？どんなことするの？と不安になりつつも「楽しいよ！」という誘われ文句に期待しつつドキドキしていました。

障がいのある子を育てるということはとても大変で、そして時間に縛られとても忙しい、そんな流されるような日々の中で「自分を見つめ直す」という時間がとても新鮮でした。チェックシートやグループの皆さんのお話を聞く中で心にストーンと落ちてくる「気づき」。自分で気づくということがこんなにも素直に聞き入れることができるのかと感動しました。

この感動を障がいのある子どもを育てている全ての保護者の皆さんに体験して欲しい！という思いでファシリテーター養成講座を受講し活動を続けてきました。

このワークショップは様々な年齢の方が参加します。そこで若いお母さんが悩みを吐露し、それに対し先輩のお母さんが「私はそんな時こうしてたよ」と経験を伝える。本来の親の会のカタチがここにあると感じています。

いつの時代も悩みは同じ。先輩の経験話はとても貴重です。若い世代に安心して子育てしてもらえるように「繋がる」これも大事な家族支援の1つだと思います。育成会の会員の皆さん「宝の持ち腐れ」してないですか？経験や得意なこと等自分の持ち味を發揮してください。

小さなことでもいい、今一度考えてみませんか？

2019年度ファッシー隊は新隊員と共に夢に向かって発進します！是非、ちからをお貸しください！！

部長 新井 由加里

★ 2019年度今後の予定 ★

- 6/28 (金) 10:00～12:00
「ファシリテーターのつどい」
- その他各市町村での家族支援ワークショップ 等々…
- 12/18 (水) 10:00～15:00
「**ファシリテーター養成講座**」講師：吉川 かわり 氏

詳細決まり次第お知らせいたします♪

家族支援事業部メンバー 通称『ファッシー隊』

高野 淑恵 (越谷)・新井由加里 (鴻巣)・佐藤 早苗 (熊谷)・長島 幸枝 (北本)・山崎久美江 (鴻巣)
菊池 波江 (上尾)・井村 桂子 (狭山)・石川 美恵 (北本)・玉木 佳代 (草加)

【連絡先】 公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-15-3 母子福祉会館内

Tel:048-833-0444 fax:048-833-0400 Mail:saitama@ikuseikai.jp

